

令和7年度 こども園評価について

朝来市立東河こども園

A:達成している(80%以上) B:概ね達成している(70%以上) C:あまり達成していない(50%以上) D:達成していない(50%未満)

評価項目		評価	今後の改善について	自己評価の妥当性 (こども園関係者評価の意見等)	
園 運 営	1 保護者や外部に教育方針や活動内容を分りやすく伝えている	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育方針や取り組みが十分に伝わっていない部分があるため、発信方法や内容の工夫、説明の分かりやすさを更に高めていく。 ・地域や保護者との連携については、交流機会の充実だけでなく、地域の人材や資源を積極的に活用し、活動に特色をもたせていく。 ・安全管理や園内美化について職員間で定期的な振り返りやチェック体制の見直しを行いより実効性の高い取り組みにつなげる。 ・職員研修については、学びが日々の保育、教育実践に確実に反映されるよう工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コドモンアプリなど、保護者へのおたより配信を通して園の方針や活動内容を丁寧に発信してきたことで、園の活動の様子や教育方針が伝わりやすくなった。 ・園児の健康管理や安全点検、園内美化についても日常的に確認を行い、事故防止や環境整備に努めている。 ・職員研修の実施や会議での意見交換の機会を確保しており、職員の資質向上や意見の反映にも取り組んでいる。
	2 保護者参観・行事・面談・園だより等開かれた園づくりをしている	A			
	3 PTAや地域との連携を図り、特色ある教育活動に取り組んでいる	B			
	4 園児の健康の把握や健康管理等適切な指導や対応ができています	A			
	5 防災・不審者の危機管理等、安全指導に努めている	A			
	6 園内の環境美化に努め、施設・設備等の安全管理を適切に行っている	B			
	7 園運営に教職員の意見が反映されている	A			
	8 教職員の資質能力を高めるための研修を十分に行っている	A			
教 育 課 程	1 教育目標が自園の実態を把握し、園児や保護者のニーズにあった内容である	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の作成にあたり、職員同士が互いに意見交換や検討を行う機会を増やし、計画のねらいや内容の共有をより丁寧に進めていく必要がある。多様な視点を取り入れることで計画の質の向上と実践との整合性を高めていくと共に教育・保育内容も充実させる。 ・職員一人一人が地域性や地域資源について理解を深めることを課題とし、地域の環境や文化、人材等への認識を広げながら、地域の特性を活かした教育・保育内容の充実を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の作成については、一定の取り組みを継続しているが、職員間での検討や共有の機会が十分だったとは言いがたい。指導計画の妥当性や連続性についてより多角的な視点で話し合いを進める必要がある。 ・地域性や地域資源の理解・活用について、十分に指導計画に反映できているとは言えず、改善の余地がある。 ・小学校との交流活動については継続的また積極的に実施でき、園児の経験の広がりにつながった。
	2 園児の発達に即し、遊びを中心とした体験的な教育に取り組んでいる	A			
	3 生きる力の基礎を身につける指導・工夫をしている	B			
	4 心の教育・道徳性の芽生えを養う指導や工夫をしている	B			
	5 地域を活かした特色ある教育活動を行っている	A			
	6 こども園・小学校・地域等との交流や連携を行い、保育・教育活動に活かしている	A			
	7 指導計画・行事の作成にあたっては教職員で話し合っている	A			
保 育 活 動	1 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に関心をもてるよう工夫している	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人一人の育ちをより丁寧に捉え、記録や振り返りを通して保育の質のさらなる向上を図りたい。 ・対話をより大切にし、相手の思いを受け止めながら自分の考えを表現できる力の育成を意識していく。 ・健康や安全の習慣について、園児自身が必要性を理解し、主体的に行動できるような関わりを継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然や生活環境に親しむ体験を意識的に取り入れ、園児が主体的に関わる機会を大切にしてきた。環境を通した保育を意識しながら発見や気付きが深まるよう援助を行った。 ・一人一人の発達を踏まえた関わりを心がけ、園児同士が育ち合う姿を大切にした。友達との関わりの中で思いを伝え合う経験を積み重ねることにより言葉での伝え合いや相互理解が育まれている。
	2 園児一人一人の発達を明確にし、共に育ち合える保育になっている	B			
	3 生命を大切にする心や、規範意識が芽生えるよう指導している	A			
	4 自分の思いを言葉等で伝え、相手の思いに気づく力や、伝え合う喜びを培っている	A			
	5 健康・安全に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいる	A			

※「絵本の読み聞かせをし、本に親しむ指導をしている」等、各園で独自に取り組んでいるものは各園で項目を設定し、評価する